

①まず、あなたの自宅に土砂災害の危険性があるか確認しましょう。

○日頃からの心がけが大切です。自宅の周囲の危険について確認してみましょう。

②避難場所及び避難経路を確認しましょう。

- 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)は土砂災害が発生した場合、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域です。
- 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)は、土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域です。
※ただし、土砂災害警戒区域以外の箇所でも、土砂災害が発生する場合があります。
- 浸水想定区域は、河川が氾濫した場合に水が浸かる区域です。
※詳細は洪水ハザードマップを見てください。
- 避難経路の目安は、避難する方向の目安を示しています。具体的な避難経路は地区の状況によって判断する必要があるため、家庭や地域で話し合ってください。



③土砂災害に関する情報を入手しましょう。

- テレビやラジオ等で気象情報を確認しましょう。
- インターネットでは、より詳しい気象情報を得ることが可能です。

ぎふ土砂災害警戒情報ポータル

https://alert.sabo.pref.gifu.lg.jp/web_pub/

岐阜県砂防課

雨量情報・土砂災害危険度情報・気象情報が確認できます。

スマートフォンはこちら



メール

関市あんしんメール(登録が必要です)

防災や気象等の情報をメール配信するサービスです。つぎの2通りの登録方法があります。

- ①<https://service.sugumail.com/seki-anshin/> に携帯からアクセス。または、左上のQRコードを読み取る。
- ②空メール用アドレス「t-seki@sg-m.jp」を直接入力して送信。

LINE で情報を受け取ることもできます。

LINE アプリの友だち追加で左の QR コードを読み取る。



LINE

④土砂災害発生の前兆現象に注意しましょう。

土石流



- ・異常な濁り・流木の発生・山鳴り・地鳴り
- ・水位の急激な低下

がけ崩れ



- ・湧水の発生・濁り・小石がぱらぱら落下
- ・亀裂の発生

地すべり



- ・斜面から湧水・井戸水が濁る
- ・亀裂の発生・山鳴り・地鳴り

問合せ先

- 避難について
関市危機管理課
電話22-3131(代表)
- 土砂災害(特別)警戒区域について
関市建設総務課
電話22-3131(代表)
- 美濃土木事務所
施設管理課
河川砂防課
電話33-4011(代表)

避難情報とはどんなもの？

警戒レベル3 (高齢者等は避難)

- 避難準備・高齢者等避難開始が発令されたら、避難ができるよう準備をしましょう。
避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児をお連れの方等)は避難を開始しましょう。



警戒レベル4 (全員避難)

- 避難勧告が発令されたら、あわてず落ち着いて避難を開始しましょう。
- 避難指示(緊急)が発令されたら、直ちにその場から避難してください。
避難の余裕がない場合は、頑丈な建物の2階以上で斜面と反対側の部屋に移動してください。



- 避難勧告等がなくても、周囲で危険を感じた場合は、早めに避難しましょう。
※がけ下や溪流沿いに住まわれている方は、土砂災害警戒情報が出た場合や、大雨が予想される場合には早めに避難しましょう。

⑤避難情報～避難までの流れ



防災行政無線・あんしんメール・LINE
・緊急速報メール・テレビのテロップ
・ラジオ・車両広報・市のホームページ

★避難準備・高齢者等避難開始
★避難勧告 ★避難指示(緊急)



自主防災会(自治会)
緊急連絡網

自主防災会長・班長さん
電話:

隣近所に声をかけて、早めの避難が大切です。

地域の避難場所は、

_____ です。

